

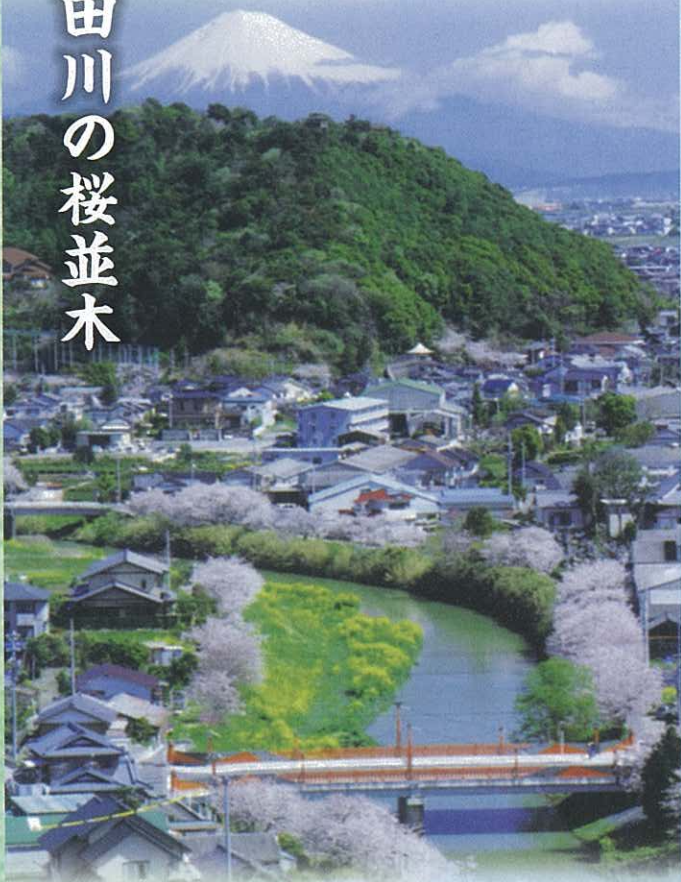
広報まきのほら 絆と元気が創る 幸せあふれみんなが集う  
NEXTまきのほら

# MAKINOHARA

牧之原市制

10<sup>th</sup> Anniversary

勝間田川の桜並木



大江八幡宮の御船神事



国指定重要無形民俗文化財

蛭ヶ谷の田遊び



市制施行10周年記念号



牧之原市長  
西原 茂樹

牧之原市が誕生して10年がたちました。この節目の時を迎えられますこともひとえに、市民の皆様をはじめ多くの関係の皆様への御支援、御尽力のたまものと、心から感謝するとともに敬意を表する次第です。

この10年の間、新市建設計画やそれに基いて策定された「ふれあいビタミンあいのまち うみ・そら・みどりと共に生きる」のスローガンのもと、牧之原市第1次総合計画に沿って、市民の皆様とまちづくりに取り組んで参りました。合併時から厳しい財政状況の中で、

市民力を力の源泉に「市民参加と協働」を掲げて取り組んで参りました。

一方で、リーマンショックや東日本大震災を経験する中で、養いつつあった市民力を発揮する場面ができました。

地区津波防災まちづくり計画や牧之原市第2次総合計画づくりは、まさに目標としていた、「対話による協働のまちづくり」として結実しました。

さらに、「絆と元気が創る 幸せあふれみんなが集う NEXTまきのほら」の総合計画のプロジェクトは、牧之原市まち・ひと・しごと創生総合戦略と

して、国からも全国のモデルとして評価されるまでになりました。

私たちには、家族がいて、友がいます。苦しかったり、辛かったりしたときに、声に出せば聴いて受け止めてくれる人がいます。うれしかったり、楽しかったりしたときに、共に喜びあえる人がいます。

対話による協働のまちづくりによって、牧之原市民が共に支え合い励まし合って、希望を持ち次代を切り開いていきますよう。

結びに、市民の皆様益々の御健勝と御活躍を心から御祈念申し上げます。



牧之原市議会議長  
小杉 康男

新市が誕生して十年という牧之原市の歴史にとって、大変意義深い年を迎えることとなり、心よりお祝い申し上げます。

市制施行10周年に際しては、記念式典をはじめとして、この一年間に各種の記念行事が行われています。

これらを通じて市が掲げる「絆と元気が創る 幸せあふれみんなが集う NEXTまきのほら」を実現すべく、活力あるまちづくりが進められることを期待しております。

市議会においては、この10年間に議

会基本条例を制定し、議会・議員の果たすべき責任と役割を明らかにし、開かれた議会を目指すよう議会改革を進めて参りました。

そして議会報告会の開催、一般質問のインターネット録画配信の実施、市民会議として市民の皆様との意見交換会などを開催して、市長に具体的な政策提言をして参りました。

また、次世代を担う、小・中学生の議場見学に併せてことも模擬議会を開催し、今後の市を考えて「僕たち、私達の将来は、楽しく住める牧之原市に

したい」という活発な意見に驚くとともに、明るい未来が期待でき、うれしく思っております。

市議会といたしましても、明るくいきいきと輝き、安心と活力に満ちた市をつつていくため、議員一同、全力で取り組んで参ります。

終わりに、牧之原市制施行10周年を皆様とともに慶祝し、牧之原市発展のために御尽力・御協力いただきました関係者の皆様に、深く感謝を申し上げます。併せて市民の皆様益々の御健勝を御祈念申し上げます。

# 牧之原市10年の歩み

## 平成17年度

# 2005

10月11日、相良町と榛原町が合併して「牧之原市」が誕生しました。

市に住む住民一人一人が、それぞれの価値観に応じた「しあわせ」を実現できる「幸福実現都市」を目指し、市民協働によるまちづくりが始動しました。

新市誕生記念コンサートが市民主体で開催され、総数約1400人の観客の前でベートーベン作曲「交響曲第九番」が合唱されました。

牧之原市茶業振興協議会が設立され、この産地で採れたお茶の銘柄を「静岡牧之原茶」とすることが決定されました。

「マ」の文字と駿河湾や牧之原台地などの地勢、お茶の葉をモチーフにした市章が定められました。

平成17年 2005年

10月11日 牧之原市誕生

牧之原市社会福祉協議会が開所

牧之原市消防団設置

10月16日 市民主体の牧之原市誕生記念第九コンサート開催

12月3日 第6回静岡市町村対抗駅伝競走大会に初参加

12月8日 さがら子生れ温泉会館オープン

平成18年 2006年

2月21日 牧之原市茶業振興協議会設立

2月28日 細江小学校体育館完成

3月14日 牧之原中学校体育館完成

3月19日 牧之原市誕生記念式典開催

3月25日 市章が決定

榛原総合病院リニューアルオープン



市章が決定



さがら子生れ温泉会館がオープン



静岡市町村対抗駅伝競走大会に初めて参加



平成17年10月11日牧之原市誕生



合併を祝い第九を合唱

平成18年度

2006

本市の基幹産業であるお茶の生産について、生産者や製茶工場、農協などの関係者が、安全安心な取り組みを宣言しました。  
5月には「市民力」を生かした協働のまちづくりを進めようと「フォーラムまきのはら」が立ち上がりました。  
また、警察署の管轄区域が変更され、榛原警察署から牧之原警察署に名称を改め業務が開始されました。  
市内の交流と連携を図り、市をより一層飛躍させることを目的に、新春顔合わせ会を初めて開催しました。

平成18年 2006年

- 4月1日 牧之原警察署発足、牧之原市花の会設立
- 4月5日 夜間延長窓口開始
- 4月20日 お茶の安全安心取り組み宣言
- 5月 フォーラムまきのはらの立ち上げ
- 5月25日 第1号「静岡まきのはら大使」にたけいしほ井保氏（細江区出身）就任
- 5月30日 皇室へ静岡牧之原茶の献上
- 6月1日 住宅用火災警報器の設置が義務付け
- 9月28日 第1次牧之原市総合計画基本構想が市議会で可決
- 10月11日 合併1周年記念式典開催
- 平成19年 2007年
- 1月4日 新春初顔合わせ会を初めて開催



献上茶を宮内庁や東宮御所へ送達



牧之原警察署が発足



新春初顔合わせ会を初めて開催



合併1周年記念式典開催



お茶の安全安心取り組み宣言

平成19年度

2007

文化振興を目的に、14年度から工事を進めてきた相良総合センターい〜らが完成。落成記念公演の朗読劇「光さす故郷へ」が上演されました。  
5月、市の花は「アジサイ」、市の木は「茶」に決まりました。  
全国茶品評会の深蒸し煎茶の部で、マルサダ製茶株式会社が最高位の農林水産大臣賞を受賞しました。  
東京都内で初の市東京交流会が開催されました。交流会には、静岡まきのはら大使の宮村眞平さん、不破央さんをはじめ、市出身者や市内高等学校卒業生など、129人が参加し、交流を深めました。

平成19年 2007年

- 4月1日 牧之原市観光協会が開所
- 第1次牧之原市総合計画が開始
- 4月17日 市の花「アジサイ」、市の木「茶」が決定
- 5月27日 相良総合センター「い〜ら」完成（落成記念公演朗読劇「光さす故郷へ」上演）
- 7月27日 東海4県で初となる「エコアクション21」の認証を取得
- 8月31日 第61回全国茶品評会でマルサダ製茶株式会社が農林水産大臣賞受賞
- 9月26日 牧之原総合開発株式会社が解散
- 10月15日 中里工業団地開発に関する協定書締結
- 11月26日 国道473号バイパス（菅山〜須々木）開通
- 11月29日 牧之原市東京交流会を初めて開催
- 11月30日 相良油田石油坑および相良油田資料館の所蔵物が「地域活性化に役立つ近代化産業遺産」に認定
- 平成20年 2008年
- 1月 市民と市が協働で市長マニフェストを検証



市の花「アジサイ」



市の木「茶」



相良総合センターい〜らが完成



エコアクション21の認証を取得



市民が市長マニフェストを検証



牧之原市東京交流会を初めて開催

# 平成20年度

2008

この年、市内小中学校体育館の耐震工事が完了しました。11月7日、マニフェスト大賞実行委員会が主催する第3回マニフェスト大賞で、「市民と市の協働による取り組み」が、審査員特別賞を受賞しました。  
 年が明けた1月、全国の主要なお茶生産地の首長が集まる「全国茶サミット静岡大会in牧之原」が「緑茶大交流時代の始動」をテーマに開催され、茶業振興のためにさまざまな交流を図るとした大会宣言が採択されました。

## 平成20年 2008年

- 4月1日 牧之原市商工会が開所
- 6月13日 まきのはら協働プロジェクト始動
- 10月29日 市内小中学校体育館の耐震工事が完了
- 11月7日 第3回マニフェスト大賞で市民と市の協働による取り組みが審査員特別賞受賞

## 平成21年 2009年

- 1月30日 「全国茶サミット静岡大会in牧之原」開催（～31日）
- 2月27日 あおぞら保育園・静波保育園完成
- 3月20日 牧之原市まきのはら協働推進会議がインベティブ・ポリシー賞受賞
- 3月 平成20年度をもって都市計画税の課税を廃止

# 平成21年度

2009

6月4日、建設決定から22年を経て、富士山静岡空港が開港しました。連日、大勢の見学者が訪れ、市民の強い関心と大きな期待が寄せられました。21年度の搭乗者数は、51万1329人、搭乗率は66・4%でした。  
 8月11日、駿河湾を震源地とする地震が発生。住宅の一部破損や大規模段断水など大きな被害が起きました。  
 JAハイナン青壮年部秋間支部が、全国茶品評会の深蒸し煎茶の部で農林水産大臣賞を受賞しました。  
 榛原総合病院は、沖縄徳洲会が指定管理者となり、再建に向けて新たなスタートを切りました。

## 平成21年 2009年

- 6月4日 富士山静岡空港開港
- 7月23日 フジドリームエアラインズ（FDA）就航開始
- 8月11日 駿河湾を震源とする震度6弱の地震が発生
- 10月24日 第63回全国茶品評会でJAハイナン青壮年部秋間支部が農林水産大臣賞受賞
- 10月25日 市長・市議会議員選挙
- 10月30日 牧之原市議会基本条例が施行
- 10月30日 国民文化祭開催（～11月1日）
- 11月1日 牧之原市が景観行政団体へ移行
- 11月6日 第4回マニフェスト大賞で市民と市の協働による取り組みがマニフェスト推進賞受賞
- 平成22年 2010年
- 2月26日 細江保育園完成
- 3月1日 榛原総合病院が特定医療法人沖縄徳洲会を指定管理者として再始動
- 3月30日 氷点下の冷え込みにより市内ほぼ全域の茶園で凍霜害が発生



富士山静岡空港が開港



沖縄徳洲会が榛原総合病院の指定管理者に



牧之原市商工会が開所



まきのはら協働プロジェクトが始動



駿河湾を震源とした震度6弱の地震が発生



国民文化祭での塩づくり体験



耐震化が完了した相良小学校体育館



全国茶サミット静岡大会が本市で開催

平成22年度

2010

東名高速道路相良牧之原インターチェンジと、国道473号相良バイパス西萩間インターチェンジを結ぶ区間が開通しました。これにより、富士山静岡空港から御前崎港までが一本の道路でつながり、陸・海・空が一体化となったまちづくりへの基盤が整いました。

3月11日に発生した東日本大震災によって、東北・関東地方の沿岸部は甚大な被害を受けました。また、これに伴い発生した福島第一原発事故は、深刻な放射能汚染を招き、県内の茶葉からも放射性物質が検出されるなど、風評被害を含め、本市にも多大な影響を与えました。

平成22年 2010年

- 4月1日 市民相談センター開設
  - 4月 TEA HERO選手権が始まる
  - 8月3日 国の直轄事業対象港湾に御前崎港が選ばれる
  - 10月11日 市制施行5周年
  - 10月17日 市内の茶業関係者の協力で無料お茶カフェプロジェクト始動
  - 10月29日 学校施設など耐震化事業完了
  - 11月16日 第14回全国手もみ製茶技術競技大会で牧之原市茶手揉保存会が優勝
  - 12月12日 鈴木梅太郎博士ビタミン発見100周年記念大会開催
- 平成23年 2011年
- 1月23日 国道473号相良バイパスが全線開通
  - 2月14日 地頭方保育園耐震工事了
  - 2月17日 宮下遺跡から日本最古の墨書のある「六角卒塔婆」が発見される
  - 3月11日 東日本大震災の発生

平成23年度

2011

市議会は9月定例会本会議で、確実な安全安心が将来にわたって担保されない限り、浜岡原子力発電所を永久停止にするべきであるという「浜岡原子力発電所に関する決議」を可決しました。市長もこれに賛同し、「永久停止は譲れない」とする市の方針を表明しました。

平成23年市議会2月定例会で可決された「自治基本条例」が10月1日から施行されました。

中里区の蛭子神社に伝わる民俗芸能「蛭ヶ谷の田遊び」が国の重要無形民俗文化財に指定されました。田遊びは、毎年2月中旬の夕刻から夜更けまで、稲作の過程を模倣的に演じ豊作や子孫繁栄を祈願します。

平成23年 2011年

- 7月11日 長野県松川町と「災害時等の相互応援に関する協定」締結
  - 7月24日 市内全域で地上アナログ放送が終了し、地上デジタル放送に完全移行
  - 9月11日 第1回まきはらマキティ軽トラ市開催
  - 9月26日 市議会が「浜岡原子力発電所に関する決議」を可決。市長も賛意を表明
  - 10月1日 牧之原市自治基本条例が施行
  - 10月7日 熊本県人吉市と「災害時等の相互応援に関する協定」締結
  - 10月27日 鹿児島県南九州市と「災害時等の相互応援に関する協定」締結
  - 11月3日 中国上海市閘北区と「友好交流に関する覚書」締結
  - 11月4日 第6回マニフェスト大賞で市民の自治基本条例策定に関する取り組みが優秀マニフェスト推進賞受賞
  - 11月11日 坂部保育園が完成したことにより市内全ての公立保育園・幼稚園の耐震化が完了
  - 11月27日 石川県小松市と「災害時等の相互応援に関する協定」締結
- 平成24年 2012年
- 1月30日 青森県三戸町と「災害時等の相互応援に関する協定」締結
  - 2月1日 山梨県甲斐市・中央市・昭和町と「災害時等の相互応援に関する協定」締結
  - 3月4日 山の手幹線「深谷橋」完成
  - 3月8日 蛭ヶ谷の田遊びが国重要無形民俗文化財に指定
  - 3月25日 富士山静岡空港から台北線が就航



市議会が浜岡原子力発電所に関する決議を可決



牧之原市自治基本条例施行記念講演会を開催



TEA HERO選手権を初めて開催



ビタミン発見100周年記念大会を開催



蛭ヶ谷の田遊びが国重要無形民俗文化財に



山の手幹線・深谷橋が開通



海外輸出の拠点である御前崎港



国道473号バイパスが全線開通

平成24年度

災害に強いまちづくりを進めるため、沿岸部5地区（相良・片浜・地頭方・川崎・細江）で、各地区の実情や課題にあった「地区津波防災まちづくり計画」が、7月から翌年3月にかけて策定されました。

35年ぶりに天皇陛下へ献穀米を献納しました。献納したのは、市内で生産、精米された「コシヒカリ」1升（1・5キログラム）です。

2月16日、空港に離発着する飛行機を間近で見学できる、富士山静岡空港石雲院展望デッキが完成しました。

平成24年 2012年

- 4月14日 新東名高速道路（御殿場―三ヶ日）開通
  - 5月8日 中国宜興市と「観光及び教育等における友好交流に関する覚書」締結
  - 6月18日 富士山静岡空港から上海線が就航
  - 7月 沿岸部5地区（相良・片浜・地頭方・川崎・細江）で地区津波防災まちづくり計画策定の協議を開始
  - 8月5日 国道473号バイパス大沢インターチェンジ立体交差化が完成
  - 9月7日 牧之原中里工業団地造成事業が完了
  - 10月29日 35年ぶりに天皇陛下へ献穀米を献納
  - 12月28日 相良消防庁舎完成
- 平成25年 2013年
- 1月1日 南駿河湾漁業協同組合が誕生
  - 1月5日 静波体育館耐震補強工事完了
  - 2月16日 富士山静岡空港石雲院展望デッキ完成
  - 3月 沿岸部5地区で地区津波防災まちづくり計画画書完成

平成25年度

2013

掛川市、菊川市、島田市、川根本町、牧之原市で構成する協議会が申請していた「静岡の茶草場農法」が5月29日、世界農業遺産に認定されました。秋や冬に里山や茶園周辺のスキヤササなどを刈り取り有機肥料として茶畑に敷き、良質な茶を生産するために行われてきた伝統農法。市内では、約22ヘクタールが対象となりました。

任期満了に伴う市長・市議会議員選挙が10月20日に告示、10月27日に投票が行われ、現職の西原氏が3期目の当選。定数が1人少なくなった市議会議員選挙には、現職9人、新人7人が当選しました。

「地区津波防災まちづくり計画」を策定した地区自治推進協議会が、第8回マニフェスト大賞市民グランプリを受賞しました。

平成25年 2013年

- 4月1日 相良消防本部が運用開始
  - 4月6日 豪雨により1200世帯3600人に避難勧告発令
  - 4月20日 勝間田川の水門完成
  - 5月29日 静岡の茶草場農法が世界農業遺産に認定
  - 6月22日 富士山が世界文化遺産に登録
  - 10月27日 市長・市議会議員選挙
  - 10月31日 市花の会が第23回全国花のまちづくりコンクールで花のまちづくり大賞受賞
  - 11月1日 地区自治推進協議会がマニフェスト大賞市民グランプリ受賞
  - 11月22日 第24回日本ウミガメ会議牧之原会議開催（24日）
- 平成26年 2014年
- 2月19日 細江小学校校舎増築工事完了
  - 3月23日 植樹祭「いのちを守る森づくり」



4月6日の豪雨による被害



マニフェスト大賞市民グランプリ受賞



相良消防本部が運用開始



勝間田川の水門が完成



静岡の茶草場農法が世界農業遺産に



富士山静岡空港石雲院展望デッキが完成



沿岸部5地区で地区津波防災まちづくり計画の協議開始



35年ぶりに天皇陛下へ献穀米を献納



牧之原中里工業団地の造成事業が完了

平成26年度

2014

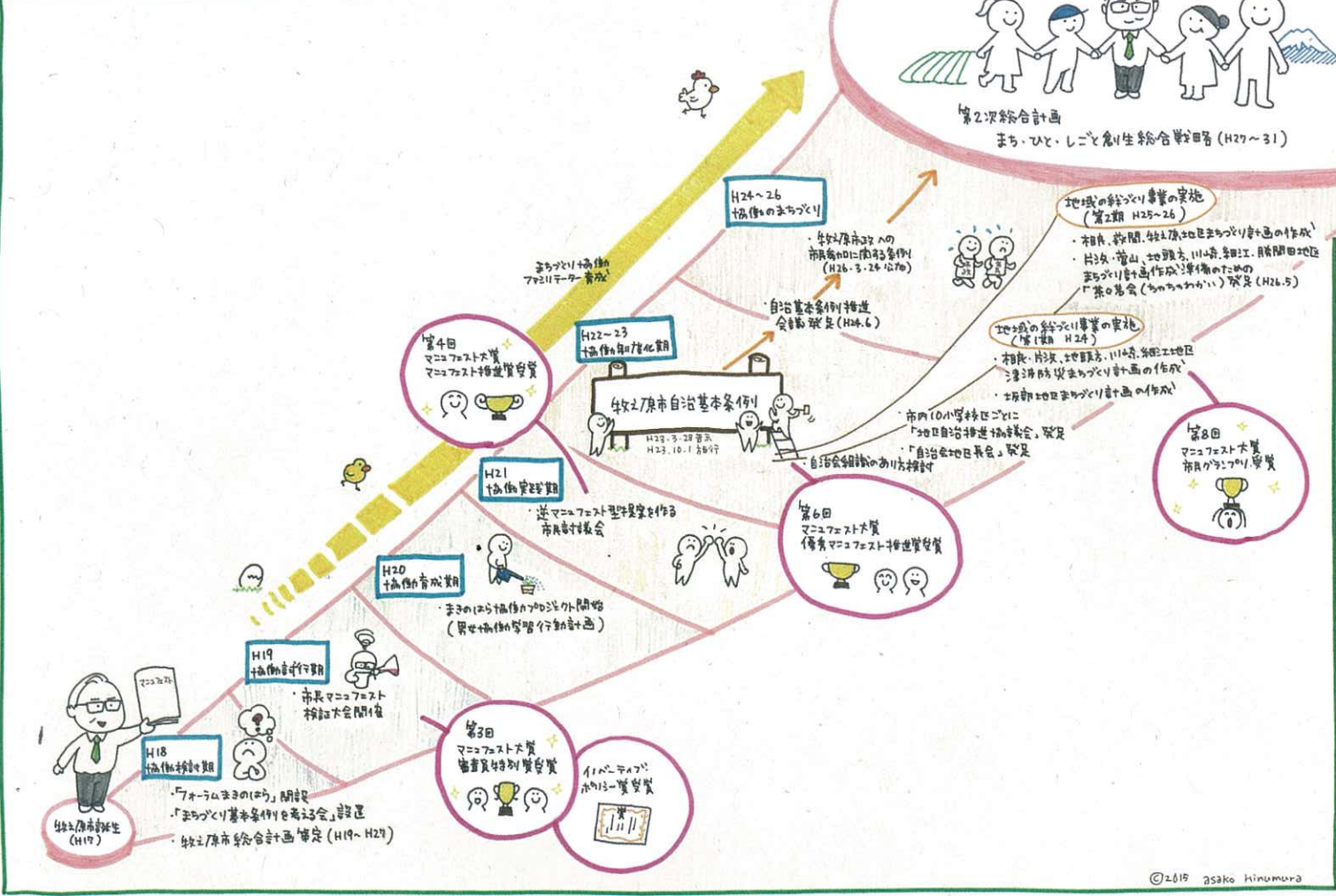
オリザニン（ビタミンB1）を発見した鈴木梅太郎博士の生誕140周年を記念して、博士を描いた「先生のオリザニン」の舞台が、東京の三越劇場で公演されました。カナダで開催された花のまちづくり国際コンクールにおいて、市花の会が最高評価の「5つ花」を受賞しました。細江区の東慶林公園内に、市内で第1号の津波避難タワーが完成しました。

「絆と元気が創る 幸せあふれみんなが集う NEXTまきのほら」を将来都市像とする第2次牧之原市総合計画が9月26日、市議会9月定例会で可決されました。また、市民との対話により策定した総合計画を基に、全国に先駆けて「牧之原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

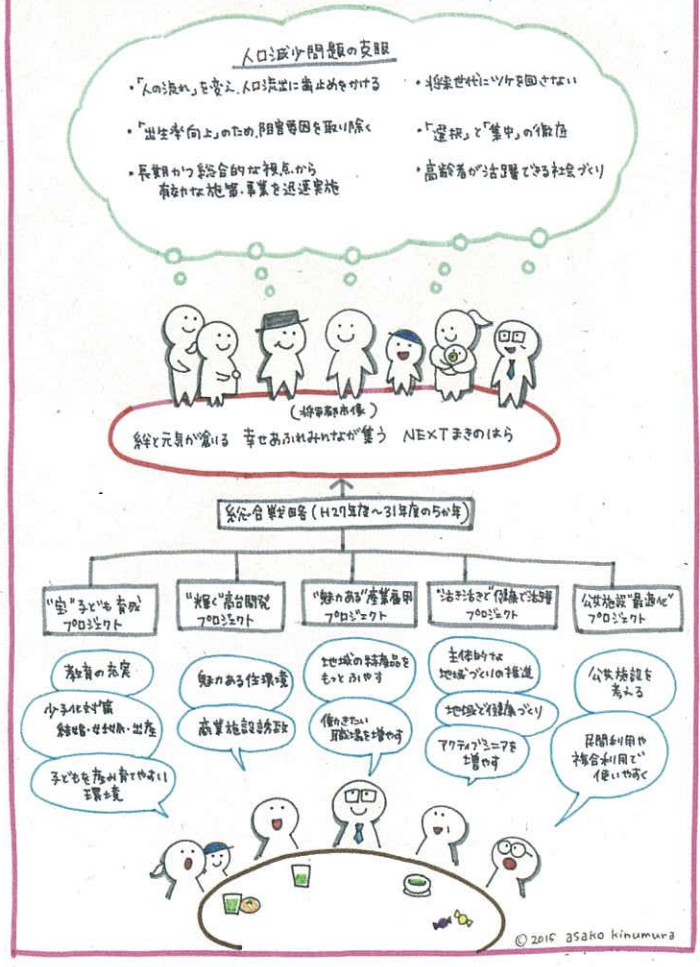
平成26年 2014年

- 4月1日 消費税8%スタート（17年ぶり増税）
- 5月19日 静岡県立大学と包括連携協定締結
- 6月12日 鈴木梅太郎博士生誕140周年記念舞台「先生のオリザニン」公演（27日）
- 7月1日 ふるさと納税推進事業開始
- 7月14日 富士山静岡空港格納庫完成
- 9月20日 花の会が国際コンクールで最高評価の「5つ花」受賞
- 9月26日 第2次牧之原市総合計画基本構想が市議会で可決
- 9月29日 津波避難ビルの工事開始
- 10月1日 牧之原市政への市民参加に関する条例が施行
- 10月2日 津波避難タワーの工事開始
- 2015年 3月 津波避難タワーが完成（東慶林公園内）
- 3月29日 牧之原市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定

牧之原市・市民参加と協働のあゆみ



牧之原市 まち・ひと・しごと創生総合戦略 (2015年策定) の全体像



花の会が国際コンクールで最高評価を受賞



鈴木梅太郎博士生誕140周年記念舞台「先生のオリザニン」製作発表



市内で第1号の津波避難タワーが完成



富士山静岡空港格納庫が完成

# 市制施行10周年記念事業

～市制施行10周年記念号～

## MAKINOHARA 10th Anniversary 牧之原市民、皆さんの企画・運営事業

6月7日  
まきのはらダンスフェス 2015



9月6日  
伝承したいものとことの祭典



9月27日  
まきのはら  
ニュースポーツフェスティバル

8月19日～9月11日  
浪江町の紙芝居を観る会  
「請戸小学校物語」～大平山をこえて～上演会



9月19日～23日  
坂口谷川彼岸花とかかし祭り



8月15日  
戦後70年「平和の鐘」  
継承事業



11月22日  
市制10周年記念  
第九コンサート



10月24日～11月1日  
わがまちの殿様たち



12月20日  
人形劇「ピノキオ」  
上演プロジェクト



etc.

## MAKINOHARA 10th Anniversary 牧之原市の企画・運営事業

8月22日～23日  
～ピックアップ～ KIDS TOWN ぼくらのまきのはら  
子どもたちが仮想のまちをつくり、遊びをとおして社会の仕組みを学ぶ。



4月～  
「原付ご当地ナンバープレート」の作成



4月～  
「市の歌」の作成



10月17日-18日  
まきのはらビタミン  
ツーデーウォーク



4月18日  
第8期マイナビ女子オープン  
五番勝負第2局



etc.

平成27年  
2015年

- 4月1日 第2次牧之原市総合計画が始動  
牧之原市まち・ひと・しごと創生総合戦略  
が始動
- 4月11日 牧之原市総合教育会議が始動
- 4月 静岡県立大学との連携による「地(知)の  
拠点」事業(COC) 始動に伴い、市に「み  
らい交流サテライト(出張所)」を設置
- 4月 ぐりんぱるフィットネスジム開館
- 4月 さまざまな市制施行10周年記念事業の開催
- 5月 富士山静岡空港から武漢や南寧、鄭州など  
中国各都市へ就航
- 7月18日 津波避難タワー2基完成(旧静波西保育園  
跡地・市営住宅東海団地跡地)
- 7月23日 富士山静岡空港運用時間の延長
- 8月28日 第69回全国茶品評会で「産地賞」受賞
- 9月1日 牧之原市相良消防署地頭方出張所建設工事  
開始
- 10月1日 子ども医療費の無料化

第2次総合計画および牧之原市まち・ひと・しごと創生  
総合戦略が始動しました。  
第69回全国茶品評会の深蒸し煎茶の部で、牧之原市が誕  
生後、初めて「産地賞」を受賞しました。  
市制施行10周年を記念し、市民の皆さんが企画・運営す  
る事業や市が主催する事業など、さまざまな事業が開催さ  
れています。

平成27年度

2015



多くの市民の皆さんが関わって策定した第2次総合計画が始動



「産地賞」受賞を喜ぶ市職員



牧之原サテライトキックオフイベント開催



ぐりんぱるフィットネスジムがオープン



# 牧之原市の歌

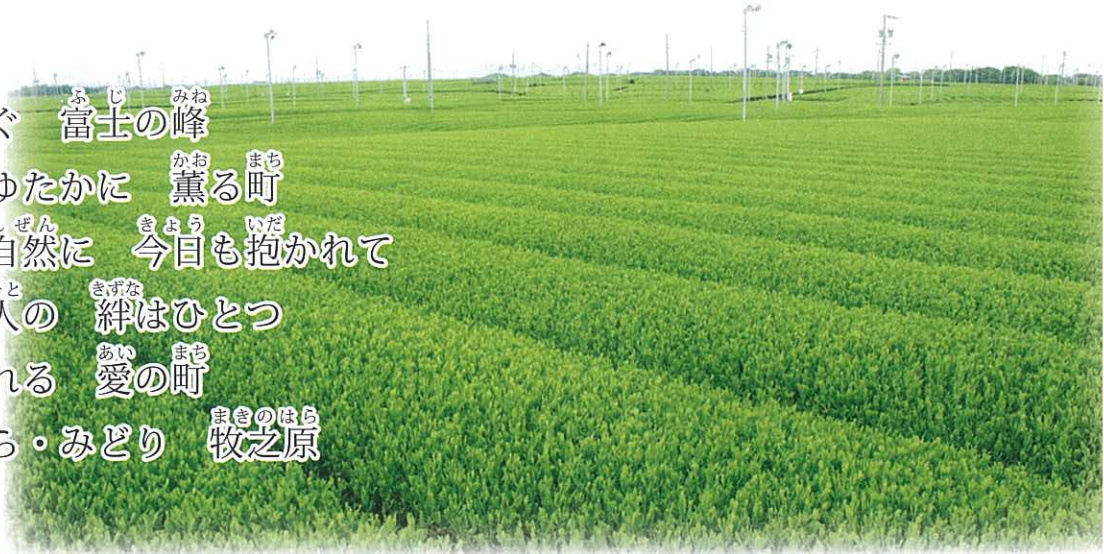
～うみ・そら・みどり牧之原～

作詞：朝倉修／補作詞：志賀大介／作曲：四方章人／編曲：柴崎博昭

1. 遥かに仰ぐ 富士の峰  
 お茶の葉ゆたかに 薫る町  
 大らかな自然に 今度も抱かれて  
 ふれあう人の 絆はひとつ  
 光があふれる 愛の町  
 うみ・そら・みどり 牧之原

2. きらめく波の 駿河湾  
 紫陽花やさしく 薫る町  
 巡りくる季節の 歌を聴きながら  
 笑顔で交わす 言葉はひとつ  
 お元気ですかと さわやかに  
 うみ・そら・みどり 牧之原

3. 世界へつなぐ つばさあり  
 明るい希望の 薫る町  
 幸せはみんなで 創るものだから  
 あしたへ向かう 心はひとつ  
 なみだは勇気の 虹になる  
 うみ・そら・みどり 牧之原



編集：牧之原市政協協働部秘書広報課  
 〒421-0495 静岡県牧之原市静波4-47番地1

☎0548(23)0052  
 牧之原市URL: <http://www.city.makinohara.shizuoka.jp>  
 メール: [seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp](mailto:seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp)